



## 市民向けシンポジウム

# 「シマフクロウ・タンチョウを指標とした生物多様性保全： 北海道の過去・現在・未来」の開催について（お知らせ）

**開催概要：**2月11日（水・祝）13時30分から、学術交流会館において、北海道の生物多様性保全を考えるシンポジウムを開催します。このシンポジウムでは、環境省環境研究総合推進費（4D-1201）「シマフクロウ・タンチョウを指標とした生物多様性保全－北海道とロシア極東との比較」の研究成果を一般にわかりやすく紹介しながら、これからの北海道における自然再生のあり方について、市民の皆様と共に考えます。

**開催趣旨：**絶滅危惧種であるシマフクロウとタンチョウは、豊かな河川水辺生態系を代表する鳥類です。アイヌの人たちから「コタンコロカムイ（村の守り神）」「サルルンカムイ（湿原の神）」として敬われてきた2種は、乱獲や開発による生息地の改変によって絶滅の危機に瀕してきましたが、保護増殖事業により個体数が回復しつつあります。しかし、2種の本来の生息地である河川水辺生態系は、すでに改変・消失しており、回復しつつある個体数を支えることができません。

これからの北海道に、カムイの鳥と共に生きるための自然を再生できるのか。北海道大学とタンチョウ保護研究グループの研究成果を紹介しながら、皆様と共に考えるシンポジウムを開催します。

**日程：**2015年2月11日（水・祝）13:30～17:45（13:00 開場）

**場所：**北海道大学学術交流会館2階講堂（札幌市北区北8条西5丁目）JR札幌駅北口より徒歩10分

**主催：**北海道大学大学院農学研究院，特定非営利活動法人タンチョウ保護研究グループ，北海道大学大学院理学研究院，北海道大学大学院地球環境科学研究院

**共催：**環境省

**協力：**酪農学園大学環境共生学類

**後援：**北海道森林管理局，公益社団法人日本動物学会北海道支部，札幌市

**参加対象・募集人数：**講演内容に関心のある方・310人（事前申込不要）

**参加費：**無料

**言語：**日本語

**プログラム：**

13:30 開会挨拶・趣旨説明

- 13:40 「シマフクロウの見えざる姿を解明するーシマフクロウのフィールド研究最前線ー」  
竹中 健（特定非営利活動法人タンチョウ保護研究グループ 研究員）
- 14:10 「北海道のタンチョウの今ーロシアの比較から見えてきたことー」  
正富 欣之（特定非営利活動法人タンチョウ保護研究グループ 副理事長）
- 14:40 「シマフクロウとタンチョウにおける遺伝的多様性の歴史と将来」  
増田 隆一（北海道大学大学院理学研究院 教授）
- 15:10 休憩
- 15:25 「市民参加の鳥類観察記録からシマフクロウ・タンチョウ保全の意義を探る」  
小泉 逸郎（北海道大学大学院地球環境科学研究院 准教授）
- 15:55 「北海道の土地利用予測から見えてくる生息地保全と復元の可能性」  
中村 太士（北海道大学大学院農学研究院 教授）
- 16:25 休憩
- 16:40 総合討論  
司 会：中村 太士  
パネリスト：竹中 健，正富 欣之，増田 隆一，小泉 逸郎，  
藤井 好太郎（環境省釧路自然環境事務所野生生物課 課長）
- 17:40 閉会挨拶
- 17:45 閉会

**申し込み期間・方法**：当日，会場受付までお越しください。（事前申込不要）

#### **お問い合わせ先**

北海道大学大学院農学研究院 森林生態系管理学研究室

シマフクロウ・タンチョウシンポジウム事務局 小林慶子・中島夕里

TEL・FAX：011-706-3343 E-mail：shimatan.owner@gmail.com

環境省 環境研究総合推進費(4D-1201) シマフクロウ・タンチョウを指標とした生物多様性保全—北海道とロシア極東との比較—  
代表:中村 太士(北海道大学大学院農学研究院 教授)

# シマフクロウ・タンチョウを指標とした生物多様性保全 北海道の過去・現在・未来



## カムイの鳥と生きる

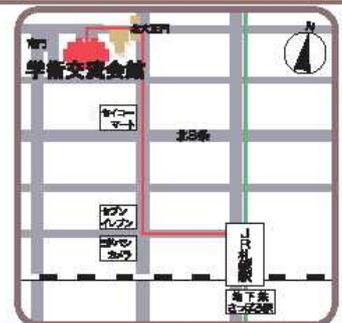
絶滅危惧種であるシマフクロウとタンチョウは、豊かな河川水辺生態系を代表する鳥類です。アイヌの人たちから「コタンコロカムイ(村の守り神)」「サルルンカムイ(湿原の神)」として敬われてきた2種は、乱獲や開発による生息地の改変によって絶滅の危機に瀕してきましたが、保護増殖事業により個体数が回復しつつあります。しかし、2種の本来の生息地である河川水辺生態系は、既に改変・消失しており、回復しつつある個体数を支えることができません。

これからの北海道に、カムイの鳥と共に生きるための自然を再生できるのか。北海道大学とタンチョウ保護研究グループの研究成果を紹介しながら、皆様と共に考えるシンポジウムを開催します。

**日時** 2015年2月11日(祝・水) 13:30~17:45(13:00開場)

**会場** 北海道大学 学術交流会館 2階 講堂  
札幌市北区北8条西5丁目 JR札幌駅・地下鉄さっぽろ駅より徒歩15分

**参加費** 無料(定員310名)※事前申し込み不要



主催:北海道大学大学院農学研究院、タンチョウ保護研究グループ、北海道大学大学院理学研究院、北海道大学大学院地球環境科学研究院  
共催:環境省 協力:酪農学園大学環境共生学類 後援:北海道森林管理局、日本動物学会北海道支部、札幌市

〈お問い合わせ先〉北海道大学大学院農学研究院 小林 慶子 TEL&FAX 011-706-3343

# プログラム

- 13:00 開場
- 13:30 開会挨拶・趣旨説明
- 13:40 「シマフクロウの見えざる姿を解明する  
—シマフクロウのフィールド研究最前線—」  
竹中 健(タンチョウ保護研究グループ 研究員)
- 14:10 「北海道のタンチョウの今—ロシアの比較から見えてきたこと—」  
正富 欣之(タンチョウ保護研究グループ 副理事長)
- 14:40 「シマフクロウとタンチョウにおける遺伝的多様性の歴史と将来」  
増田 隆一(北海道大学大学院理学研究院 教授)
- 15:10 休憩
- 15:25 「市民参加の鳥類観察記録からシマフクロウ・タンチョウ保全の意義を探る」  
小泉 逸郎(北海道大学大学院地球環境科学研究院 准教授)
- 15:55 「北海道の土地利用予測から見えてくる生息地保全と復元の可能性」  
中村 太士(北海道大学大学院農学研究院 教授)
- 16:25 休憩
- 16:40 総合討論  
司会：中村 太士 (北大農学研究院)  
パネリスト：竹中 健 (タンチョウ保護研究グループ)  
正富 欣之 (タンチョウ保護研究グループ)  
増田 隆一 (北大理学研究院)  
小泉 逸郎 (北大地球環境科学研究院)  
藤井 好太郎(環境省 釧路自然環境事務所 野生生物課 課長)
- 17:40 閉会挨拶
- 17:45 閉会



写真提供

シマフクロウ

・Jonathan C. Slaght (表)

・吉井 千晶 (裏)

タンチョウ

・正富 欣之